



志をもって 未来を切り拓け

< 貫く精神 >

自学
温言温動

岐阜市駅伝大会に向けて 練習がスタートしました

10月22日(水)の朝に学校代表となる駅伝部が発足し、岐阜市中学生駅伝大会に向けた練習がスタートしました。

後期の始業式に「学校の代表として、梅林中の譽をつないでゴールを切ってほしい」という願いをこめて話しました。岐阜地区駅伝大会では、男子チームしか参加できませんでしたが、「今回の岐阜市駅伝大会では男子と女子と2チームでの出場をしてほしい」ということも話しました。その話を受けてか、22日の朝の初めての練習では、参加を希望した28名が集まって練習を始めました。もちろん、全員大会に参加することはできませんが、駅伝練習をしようと「チャレンジする姿」が、本当にうれしく感じました。

駅伝練習は、地道でひたすら走り続けるつらい練習ですが、そのつらさを仲間とともに乗り越えていく経験ができることは、駅伝練習以外の学校生活や家庭生活に生かすことができるはずで。練習期間は長いですが、自分に対する「チャレンジ」としてひたむきに取り組んでほしいと思います。

駅伝部は学校の代表として、それぞれの部活動の垣根を越えて、頑張ろうという仲間が集まった特別な部活動です。学校の代表として、大会はもちろん練習でも、学校生活でも、すばらしい姿が見られることを楽しみにしています。



3年生が、ユニセフ・キャラバン・ キャンペーンの広報活動で 「ユニセフ教室」を行いました

10月23日(木)に日本ユニセフ協会の東京事務所から、石尾 匠さん、山口 鮎美さん、そして岐阜県ユニセフ協会の方をお招きして、ユニセフ教室を行いました。このユニセフ・キャラバン・キャンペーンは毎年全国各地で開催されており、岐阜県では4年ぶりの開催になりました。中学校では梅林中学校だけが選ばれました。

ユニセフ教室では、世界で起こっている戦争や紛争、自然環境の変化によって、学校に行くことができずに命が脅かされている子どもたちの現状を学びました。また、子どもの権利条約について、確認することができました。お話だけではなく、13ℓ ほどの水が入る真鍮製(しんちゅうせい)の水がめを運んだり、マラリアから身を守るために虫よけ剤が付いている蚊帳に入ったりする体験をすることができました。

今回の教室を通して、同じ地球に暮らす子どもたちとこの世界の未来のために、何ができるかを考える貴重な機会となりました。ユニセフの皆さん、ありがとうございました。

授業の初めに、山口さんは元中学校の英語の先生で、どうしてユニセフに就職したかを話していただきました。「挑戦しないことで、後悔したくない、やりたいことに『挑戦』して、失敗しても、まだ頑張ればいい。一度きりの人生だから、自分が納得できることをしたい。」と挑戦することの大切さを話してくれました。

自分のやりたいことをやり続けている山口さんの話は、声に力があり、話に引き込まれてしまいました。そんな生き方も今回の教室から学ぶことができました。





授業後の感想とともに、今回の教室を通して、「すべての子どもに、 を」の四角の中にあてはまる言葉を自分なりに考えたものを紹介します。

今回のユニセフ教室では、世界中に僕たちが普通だと思っていることが、普通ではない人々がいることを改めて知ることができた。自分なら諦めていそうな環境でも、その子たちは毎日あきらめず誰かのために頑張っていることを知り、自分より年下なのにすごいと思った。そんな人々のために活動するよい団体のユニセフがあるのに、お金がなくては活動できないことを知って、今までより募金に少し興味が沸いた。

「すべての子どもに、平等な生活を」

3年1組男子

私は世界には、自由に学校にいけない子、働かなければいけない子、栄養が足りない子、戦争に巻き込まれる子、つらい思いをする子が少ないわけでないことに、悲しい気持ちでいっぱいになりました。自分だったら、水を運ぶのに1日8時間も使いたくないなあと思います。だけど、仕方なくやらなければ生きられない、こんな子どもが1人でも多く助けられたらなあと思いました。だから、私も子どもだからできることは少ないけど、世界の子どもについての理解を深めたり、募金活動に協力したりして、つらい思いをする子を1人でも減らしたい。

「すべての子どもに、自由を」

3年1組女子

6人に1人の子どもが死んでもおかしくない劣悪な環境で過ごしていることを知って、私たちの日常は当たり前のことではなく、もっと感謝すべきものだとして改めて実感することができた。ユニセフの支援を受けている子どもの実態を見て、すぐにつらかったし、私たちに今できること（募金など）を通して、世界中とつながり、少しでも多くの子が笑ってほしいなと強く思った。また、募金の価値、1円の重みを理解することもできて、このことを身の回りの人に伝えて、より多くの方が世界のだれかを助けられたらいいなと感じた。

「すべての子どもに、笑顔を」

3年2組女子



学習したくても働くしかない子ども、家族の生活のために自分を犠牲にしてでも毎日働き続けている子どもたちが、これだけ取組を行っても、世界中の6人に1人はいるという現実に驚きました。私たちが授業を受けていたこの瞬間にも、どこかの国で必死に誰かのために働いている子がいると思うと、今まで私がどれだけ恵まれた環境で生活できているのかを実感しました。世界中の子どもたちを助けるために、70年間動き続けているユニセフの皆さんの諦めない心の強さに圧倒されました。私も1人でも多くの子が幸せになれるように、小さなことからコツコツ頑張ろうと思います。

「すべての子どもに、幸せを」

3年2組女子

世界には支援を必要としている子どもたちがたくさんいるとわかりました。私は水をくむのに、1日8時間も使って学校に行けない女の子が印象に残りました。また、家族の生活を支えるために、まだ12歳なのに学校をやめて、安全じゃなさそうな工場で働いている男の子も印象に残りました。自分より年下の子もなのに、弟のために思って、自分を犠牲にしているとわかりました。紛争や自然災害などで、私たちのような安全な暮らしができない子どもたちが、教育を受けたり、十分な食料や水を手に入れたりするようになると良いと思いました。そんな子供たちのために、募金など自分ができることから支援していきたいと思いました。

「すべての子どもに、安心・安全な暮らしを」

3年3組女子

私は今日のユニセフ教室を受けて、改めて自分たちの生活が当たり前でないことを実感しました。また、家族を想って1日中働く子や8時間かけて水を確保しに行く子など、いろんな子どもたちがいたけれど、全員が自分と同じぐらいの年齢で驚きました。そして、1人1人が本当は「学校に行きたい」や「働きたくない」と暗い表情で話していて、とても胸が痛くなりました。私たちが直接的にしてあげられることは少ないけれど、募金をしたり、エシカル商品を買ったり、できることは今日から始めていきたいと思いました。

「すべての子どもに、教育と食事を」

3年3組女子

【11月のおもな予定】

- 4日(火) 全校研究会(1-1 英語)
- 5日(水) 3年実力テスト
- 7日(金) いじめを見逃さない日
3年進路説明会
- 11日(火) 後期中間テスト
- 12日(水) ①学習について考える日
自転車連盟講話
- 21日(金) ③CFB
ぎふMIRAI'sチャンネル
- 27日(木) 小学6年生1日入学
- 28日(金) 梅林中学校区

特別支援学級交流会